

# 加藤大平選手 活躍！ トップテン入り

## ワールドカップスキー ノルディック複合札幌大会

本町西和出身、ノルディック複合競技でソチオリンピック日本代表の加藤大平選手（30）が1月23日、24日札幌市で開催されたワールドカップスキーノルディック複合に出場しました。

9年ぶりの札幌開催。会場で応援しようと地元応援団を結成し、応援のぼりを掲げ連日の加藤大平選手の闘いを応援してきました。

札幌大会1日目に第8位、2日目には第10位と2戦連続のトップテン入りを果たした加藤大平選手からは「ジャンプの調子は良くもなく悪くもなくといった状態だったが、クロスカントリーはスキーが良く滑り、いつもは下がる順位も上げることができた。目標としていたトップテンに入り、試合毎に調子が上がってきている。今回は地元の応援団の声援が大きき力になりました。応援いただいたみなさん、ありがとうございました。」と喜びと感謝の言葉をいただきました。

応援団からは「誇りに思う。最高だった。」「頑張ってくれた。応援に来て本当に良かった。」と枯らした声で喜んでいました。

今回の札幌大会は、加藤選手にとってワールドカップ後半戦につながる大会となり、今後の活躍が期待されます。



腕に「わっさむ」を刻み世界で戦う加藤選手



先頭にくらいつく加藤選手（右から2番目）

### 元オリンピック選手 つぐひさ 本町出身 菊地二久さんから寄贈

レークプラシッドオリンピック（1980年アメリカ）にバイアスロン競技で出場した本町大成出身の菊地二久さん（札幌市在住）から当時の日本選手団のユニフォームや競技で使われたワンピースやシューズなどの貴重な品11点を寄贈いただきました。

選手引退後はコーチをし、現在は北海道バイアスロン連盟副会長とご活躍中の菊地さんは、現在世界で活躍中の加藤大平選手に「和寒という町と、西和という地域への感謝の気持ちを忘れずに、これからも活躍してください。」とエールを送られていました。

この品の数々は総合体育館に展示させていただきます。



バイアスロン競技元日本代表の菊地さん（左）と寄贈品